

下水道機構の『新技術情報』 第78号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

昨晚の夕食は、家族で南南東に向かって恵方巻きにかぶりつきました(笑)。節分にその年の恵方に向けて食べると縁起が良いとされているようで、もともとは関西地方の風習だったようですが、今ではすっかり全国区のイベントになりましたね。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第78号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・下水道機構に関するWeb アンケートを開始します
- ・1/31(木)に第2回審査証明委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、2/8(木)に 新技術研究発表会@大阪会場を開催します

■Tea Break

- ・余ったスーツの上着、、、(研究一部 YA さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・一足早い春をお届けします！さて何でしょう？

■国からの情報

- ・2月1日付け下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●下水道機構に関するWeb アンケートを開始します。ご協力をお願いいたします。

当機構は、昨年20周年を迎え、今年4月1日には、より公益活動を行う組織として、公益財団法人に移行する予定です。この度、下水道機構の果たすべき役割を再認識し、今後の社会的な貢献に向けた新たな活動の展開への礎とするため、アンケートを実施することにいたしました。アンケートですが、これまでの当機構の活動で“役だったもの”、“役に立たなかった、あるいは不満だったもの”、“今後機構に期待するもの”などを回答いただくもので、Web画面から、簡単にご回答いただけます。今後の機構の活動

に皆様の意見を反映していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

Web アンケートはこちらから

→ http://www.jiwet.or.jp/ascgi-bin/enquete_top.cgi?E_NUM=7

●平成 25 年 1 月 31 日に開催されました、第 2 回審査証明委員会では、新規技術 5、変更技術 13、更新技術 15 の計 33 技術が、審査証明委員長である楠田委員長より答申されました。

平成 24 年 6 月 29 日に開催された第 1 回審査証明委員会では、新規技術 6、変更技術 13、更新技術 15、継続技術 5 の合計 39 技術について諮問されましたが、このうち、継続技術から 2 技術が年度途中で答申を受け審査証明が交付され、また、来年度以降も継続して審議する技術が、2 技術あります。

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

◎ 2/8(金) 13:00~16:45 新技術研究発表会(大阪会場)@大阪科学技術センター

2/15(金) 13:00~16:45 新技術研究発表会(東京会場)@発明会館

※参加お申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm

●2/13(木) 平成 24 年度第 3 回 管路技術共同研究委員会

●2/19(火) 平成 24 年度第 3 回 津波シミュレーションモデル利活用検討委員会

●2/21(木) 平成 24 年度第 3 回 汚泥処理技術共同研究委員会

●2/28(木) 平成 24 年度第 3 回 水処理新技術実用化評価委員会

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●余ったスーツの上着、、、(研究一部 YA さんからの投稿です)

最近気になっていることと言いますか、結構切実に悩んでいるのですが、スーツの下のパンツの痛みが早く、上着だけの状態となっているものがとても多いのです。社会人になって 7 年目ですが、これまで購入した 7 着のうち、4 着が上着だけの状況になっています。私は必ず 2 パンツ派なので、もう少し長持ちしてもいいはずなのですが、先日、座り込んだ際に

インフラ施設の老朽化対策をまとめた10カ年計画の策定、東京都の下水道管渠の老朽化状況とその対策としての更生工法の公開が並びました。～キックオフ「メンテナンス政策元年」

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- 社会資本メンテナンス戦略小委員会緊急提言について【下水道事業課】
- シールドトンネルの設計・施工における注意事項について【下水道事業課】
- 日・インドネシア道路・下水道セミナーの結果概要について【流域管理官】
- 日本近海における陸域汚濁負荷量算定プログラムモデル公開【国総研】
- 土木学会環境工学委員会・下水道関連震災調査小委員会シンポジウム「東日本大震災の経験から次世代の下水道を考える」の開催について【下水道事業課】
- 「第2回災害時トイレ衛生管理講習会」のご案内【NPO 法人日本トイレ研究所】

=====

- 社会資本メンテナンス戦略小委員会緊急提言について【下水道事業課】

社会資本の維持管理・更新のあり方を俯瞰的・横断的に調査・審議している社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会社会資本メンテナンス戦略小委員会において、中央自動車道笹子トンネル事故を契機に、これまでの本委員会での議論等を踏まえつつ、社会資本の安全性に対する信頼を確保するために国土交通省等が講ずべき維持管理・更新の当面の取組等について緊急的に提言することを目的として、緊急提言「本格的なメンテナンス時代に向けたインフラ政策の総合的な充実～キックオフ「メンテナンス政策元年」～がとりまとめられました。

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/sogo03_sg_000018.html

- シールドトンネルの設計・施工における注意事項について【下水道事業課】

シールドトンネル施工技術安全向上協議会において、シールド工事現場でのトラブル事例やその対応についてのアンケート調査を行い、その結果を踏まえて、「アンケート調査結果に基づくシールド設計・施工における注意事項」がとりまとめられました。地方公共団体等宛て、別途通知される予定です。

<http://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekou/pdf/250131kyougikai04.pdf>

- 日・インドネシア道路・下水道セミナーの結果概要について【流域管理官】

先週号で開催のお知らせをしました標記セミナーについて、結果概要をホームページに掲載しました。

ヘルマント副大臣、菊川技監の挨拶の後、午前中のセミナーでは、インドネシア側から、インドネシアの道路・下水道整備の現状について紹介があり、日本側からは、日本の道路技術、下水道技術の紹介が行われました。午後は、道路分野、下水道分野に分かれてセミナーが行われ、下水道分野においては、日本側から浸水対策や推進工法について紹介の後、活発な議論や情報交換が行われました。下水道分野の閉会にあたり、高島流域管理官から、技術移転の重要性や、日本の技術・ノウハウにより両国の関係がより一層深まり、両国のますますの発展を祈念する旨の挨拶がありました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000233.html

○日本近海における陸域汚濁負荷量算定プログラムモデル公開【国総研】

国総研では、平成 20 年度より 3 カ年で、日本近海の海洋環境保全を目的として、関係各国の下水道整備を軸とする、陸域からの汚濁負荷排出抑制による海洋環境保全手法の検討を行いました。この度、東アジアに位置している日本海、東シナ海、黄海、渤海へ、沿岸に位置する日本、韓国、中国、ロシアからの汚濁負荷量の算定、及び将来における汚濁負荷量の予測を行うシミュレーション計算モデルを公開しました。

詳細については、国総研下水道研究室ホームページの下記 URL をご覧ください。

http://www.nilim.go.jp/lab/ebg/nihonkinkai_download.html

○土木学会環境工学委員会・下水道関連震災調査小委員会シンポジウム「東日本大震災の経験から次世代の下水道を考える」の開催について【下水道事業課】

標記シンポジウムが 3 月 19 日（火）14:00?17:45、土木学会講堂（東京都新宿区四谷一丁目）にて開催されますのでお知らせします。

・プログラム

委員長挨拶（東北大学大学院工学研究科 教授 大村達夫）

下水道関連震災調査小委員会活動報告

（東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授 佐藤弘泰）

（特別講演）東日本大震災の経験と未来の下水道施設のあり方

（国土交通省水管理・国土保全局下水道部 部長 岡久宏史）

下水道における今後の事業継続のあり方について

（国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部 森田弘昭）

広域支援体制の構築（公益社団法人日本下水道協会 技術研究部長 植松龍二）

緊急事態と水質保全（京都大学大学院工学研究科 教授 田中宏明）

災害技術の継承（元東京都下水道局 施設管理部長 中里卓治）

下水道を核とした新しい街づくり（株式会社メタウォーター 技監 栗原秀人）

総合討論

・申込方法：土木学会ホームページより（締切：3 月 11 日）

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

●「第 2 回災害時トイレ衛生管理講習会」のご案内【NPO 法人日本トイレ研究所】

2 月 23 日（土）～24 日（日）に、明治大学リバティタワー1103 教室において、「第 2 回災害時トイレ衛生管理講習会－水洗トイレが使えなくなった時の健康と衛生対策を学ぶ－」を開催します。本講習会は、平常時から災害時トイレ衛生対策を推進し、災害時にも安心して使用できるトイ

レ環境をつくる人材の育成を目的としています。ここでは、排泄・衛生、トイレ空間・設備、し尿処理の各分野の基本的内容を学び、避難所や事業所等でのトイレ衛生対策の実践的なノウハウを習得していただきます。企業や行政の防災担当者、自治防災に携わる方、学校関係者、医療従事者など、地域や組織を守る立場の方々に受講頂き、防災力を高めていただくことを願っております。

<http://www.toilet.or.jp/study/meeting/summary/130223.html>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■下水道新技術研究発表会の開催について【下水道機構】

(2月8日：大阪、2月15日：東京開催)

http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm

→1月18日掲載

■第18回「下水道循環のみち研究会」セミナーの開催について

【日本下水道施設業協会】

(2月18日開催)

<http://www.siset.or.jp/>

→1月10日掲載

=====

【参考情報】

◆旭の液状化 9月までに対策計画 学識者ら検討委初会合 千葉 <1/25 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20130125/CK2013012502000106.html>

◆老朽インフラ大改修 兵庫県が10カ年計画策定 <1/26 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201301/0005695993.shtml>

◆東京都、老朽下水道を公開 <1/26 日本経済新聞>

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZ050996750V20C13A1L83000/>

◆地下の掘削機取り出しへ 下水道事故原因究明手掛かりに <1/26 高知新聞>

<http://www.kochinews.co.jp/?&nwSrl=298175&nwIW=1&nwVt=knd>

◆幻想的な地下世界表現 仙台で下水道施設テーマの写真展 <1/28 河北新報>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2013/01/20130128t15010.htm>

◆バイオガス発電、新たに3施設で 県が設計費予算化へ <1/28 下野新聞>

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/top/news/20130127/969935>

◆汚泥ガス発電：下水処理場で本格稼働 新潟市が県内初 /新潟 <1/29 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/niiigata/news/20130129ddIk15040075000c.html>

◆浸水被害防止へ、鶴巻地区で新ポンプ場稼働 /秦野 <1/30 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1301290019/>

◆神戸市、ベトナムで水事業 <1/31 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hyogo/news/20130130-0YT8T01548.htm>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>
